

2017年3月5日(日)朝10:10  
3月第1聖餐総員公同主日礼拝式説教

主の降誕節第11、婦人会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：第7の封印について、 竜との戦い

聖書:ヨハネの黙示録 12章7～12節

＜口語訳＞

新約聖書398頁

ヨハネの黙示録 12章7～12節

＜新共同訳＞

新約聖書466頁

ヨハネの黙示録 12章7～12節

＜新改訳第3版＞

新約聖書489頁

ヨハネの黙示録12章7～12節＜塚本訳＞

新約聖書802～803頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◆ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◆ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰の励ましと神の御子の愛の思い、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、屠られた仔羊(羔羊)礼拝と天の大讃美、6～9章は、「卷物」第1～6巻開封、144,000人の戦い、御使の祈り、人間を害する蝗による神の裁き、人間殺害の4人の御使い解放で、10章は、強い天使が神の恵みの啓示と審判、創造主へ誓い、ヨハネが卷物を食べこと、11章は、2人の証人の奉仕と殉教、主の王即位と24人の長老の神礼拝、神服従者への報い、12章1～6節は、男の子を生む女性と迫害者の龍(悪魔・サタン)との戦いの箇所です。
- ◆ヨハネの黙示録12章7～12節は、天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦いの啓示。

本論；

- ◆本日、ヨハネ黙示録第12章7～12節から主の使信に思い・心をとめます。
- ◆黙示録12章7～9節；ヨハネは、竜が天使ミカエルに敗れ、仲間と共に竜が地に落とされた幻を啓示されました。
- ◆7～12節；塚本訳◆ミカエルと竜との戦闘  
「7 すると天に戦闘が起こって、(天使の首なる)ミカエルとその使い達が竜と戦った。そして竜もその使い達も(一所にこれに対して)戦ったけれども、  
8 勝つことが出来なかった。そして最早天には彼らの(いる)場所が無くなった。  
9 かくて(この)大きな竜は(天から)落とされた——(昔エバを惑わしたあの)旧い蛇、悪魔またサタンと呼ばれ、全世界を惑わす者は、地に(叩き)落とされた。その使い達もまた彼と共に落とされた」と、ヨハネはミカエルと竜(悪魔・サタン)との戦いを啓示されました。
- ◆7～9節；ヨハネは、「ミカエルとその使い達が竜と戦った」、「竜もその使い達も」、「勝つことが出来なかった。そして最早天には彼らの

**(いる)場所が無くなった**」、その結果、「**旧い蛇、惡魔またサタンと呼ばれ、全世界を惑わす者は、地に(叩き)落とされた**」のを見ました。

⇒「**(天使の首なる)ミカエルとその使い達が竜と戦った**」が、「**龍(惡魔・サタン)**とその仲間」は、敗北し、地に叩き落とされました。

⇒「**龍(惡魔・サタン)**」には、「**彼らの(いる)場所が無くなった**」というのです。

⇒「**龍(惡魔・サタン)**」は、天に登る勢いがありましたが、「**(天使の首なる)ミカエルとその使い達**」の勢いは、「**龍(惡魔・サタン)**」を叩き落とすほど、更に強く、彼等が天で**神**に訴える機会を完全に失ったのです。

⇒かつては、ヨブを訴え、エバ、ペテロ、ユダを誘惑、イエス様さえ、荒野で試みた**龍(惡魔・サタン)**は、その活動の場を天では失い、地上で、「**旧い蛇、惡魔またサタンと呼ばれ、全世界を惑わす者**」としての最後の**神**への反逆を繰り返すというのです。

⇒「**龍(惡魔・サタン)**」は、今も、「**この世の君・王**」ですから「**自己中心の心**」には、住みつき、「**神礼拝、神信仰**」者を苦しめつづけます。

◆默示録12章10～12節；ヨハネは、竜追放により、キリスト・イエス様が天での全権者となられた幻を啓示されました。

◇7～12節；塚本訳◆ミカエルと竜との戦闘

「10 すると大きな声が天で(こう)言うのを私は聞いた——今や我らの神の救いと権能と王国と、そのキリストの権力とは来た。われらの兄弟達を訴うる者、昼も夜も彼らを神の前に訴うる者が(地に)落とされたからである。

11 (然り、今や)彼ら(兄弟達)は仔羊の血により、また彼らの(立てた)証明の言によって、彼に勝ったのである。——彼らは死に至るまで(羊のために戦い、少しも)自分の生命を愛しなかった。

12 この故に、喜べ、天とその中に住む者達！(しかし)禍なる哉、地と海！悪魔が時の迫ったことを知り、大なる憤怒をもってお前達の所に下り(て行つたからである。」と、ヨハネはミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦いの結末を啓示されました。

◇10～12節；ヨハネは、「龍(悪魔・サタン)」が、天での「彼らの(いる)場所が無くなった」だけでなく、「悪魔が時の迫ったことを知り、大なる憤怒をもってお前達の所に下り(て行つた)と、地上の「龍(悪魔・サタン)」との戦いの厳しさとともに、「龍(悪魔・サタン)の終わり」の時間制限も定められ、地上では、「憤怒」をもって行動する姿も、啓示されました。

⇒「神の御子イエス・キリスト様」は、天においては、「全權」を確立され、龍(悪魔・サタン)が直接訴える場は失われましたので、余計に「憤怒」をもって、「神信仰者・神礼拝者」を誘惑して、「龍(悪魔・サタン)」の本心である「自ら王となる」ことを追及して、「神なき人々」をもって、「地と海・すなわち全世界の人々」の心を支配しようとします。

⇒「龍(悪魔・サタン)」は、ヨブを訴えた方法が、人間の最も大きな弱点であることを知り尽くしていますので、「病気、事故、孤独」の中に投げ込もうとします。

⇒併し、「龍(悪魔・サタン)」の活動期間は、女性を神が守り養われた期間と同じと知りましょう。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ヨハネの默示録は、1章1節、「イエス・キリストの默示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の默示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ默示録1章は、神の御子の再臨信仰の励ましと神の御子の愛の思い、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、屠られた仔羊(羔羊)礼拝と天の大讃美、6～9章は、「卷物」第1～6巻開封、144,000人の戦い、御使の祈り、人間を害する蝗による神の裁き、人間殺害の4人の御使い解放で、10章は、強い天使が神の恵みの啓示と審判、創造主へ誓い、ヨハネが卷物を食べこと、11章は、2人の証人の奉仕と殉教、主の王即位と24人の長老の神礼拝、神服従者への報い、12章1～6節は、男の子を生む女性と迫害者の龍(悪魔・サタン)との戦いの箇所です。

◇ヨハネの黙示録12章7～12節は、天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦いの啓示されました。

⇒「神の栄光の御座」での「24人の長老」と「4つの生き物」の神礼拝・神讃美は、「主キリスト・イエス様が天のみならず、地の上・この世でも、王となり給うたことを感謝」する結末を与えられています。

⇒地上に今生かされています私たちも、「神礼拝・神讃美」は、この幻のように実現することを信じて、「主がこの世の王となり給うたことを感謝」すると、告白しています。

⇒「死」という最大の苦難を思う前に、「恵みの約束の神」に思いを向けて、願います。

⇒ヨハネ黙示録は、苦難の先にある「神の救い」という「神の恵み」を見せ、また指示します。

⇒「龍(悪魔・サタン)」は、「神のようになる」目的を放棄していませんで、「天では」、「彼らの(いる)場所が無くなった」のですが、投げ落とされた地上で、「神礼拝者・神信仰者」を「訴える本務」を放棄することはしません。

⇒12節の「喜べ」、「神を讃美せよ」を心にとめ!